

**Fintech ベンチャーの Finatext、トムソン・ロイターと  
SNS 分析による個人向け投資情報サービス「ソーシャル・インディケーター」を共同開発！**

Fintech ベンチャーの株式会社 Finatext（本社：東京都千代田区、代表取締役 CEO：林良太、以下「Finatext」）は、トムソン・ロイター・マーケットズ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：富田秀夫、以下「トムソン・ロイター」）と、金融・投資に関する SNS データや株価情報等の解析結果を提供するサービス「ソーシャル・インディケーター」を共同開発いたします。なお、ソーシャル・インディケーターはトムソン・ロイターの金融情報サービス「トムソン・ロイター・ナレッジ・ダイレクト・フォー・ウェルスマネジメント」を通じて国内外の金融機関経由で個人投資家向けに提供されます。

これまで Finatext では、株アプリ「あすかぶ！」や FX アプリ「かる FX」、また投信アプリ「Fundect」や「moneby」など、投資に関する SNS アプリを多数運営してまいりました。これらアプリの総ダウンロード数は 150 万を超え、数多くのユーザーの投稿や投資予想情報など個人投資家に関連する膨大なデータを保有しております。

この度の共同開発では、これら Finatext の持つ金融アプリに加え、その他 SNS も含めた金融・投資に関する膨大なコメントデータの分析と、株式の値動きを解析した結果を数値化することにより、非構造化データである SNS 上のコンテンツを「投資情報」として提供し、新しい投資アイデアを個人投資家に提供してまいります。

さらには、日本の上場企業全銘柄について、個別銘柄ごとに SNS での話題度をスコアリングし、さらには当該銘柄の SNS でのコメントのセンチメント（市場心理）や頻出キーワードを提供いたします。

Finatext とトムソン・ロイターは 2016 年 4 月に提携を発表し、相互に膨大なデータの提供を行い、これまでも金融・投資に関するサービス開発を行ってまいりました。この度のソーシャル・インディケーターを始め、今後も日本市場でのサービス拡充を図るとともに、個人投資家向けの金融サービスのニーズが高まっているアジア市場においても同様のサービス展開を検討してまいります。

**◆株式会社 Finatext について**

2014 年設立の東京大学発 Fintech ベンチャー企業。金融に関する豊富な知識・経験を基盤に、それを誰にでも分かりやすい UI/UX に落としこみ、非常に短い期間で開発を行う技術力を持ち合わせております。モバイル金融サービスの開発・企画・運営に強みを持っており、日本一株予想の集まるアプリ『あすかぶ！』や FX アプリ『かる FX』、投信選びをサポートするアプリ『Fundect』、そして独自の投資信託のデータベースである『AssetArrow』を開発・運営しております。また、2015 年度に行われたマレーシア最大の銀行 Maybank 主催の Fintech コンテストにおいて日本企業で唯一選抜され優勝するなど、グローバル展開も注力しております。

本件に関するお問い合わせ先  
株式会社 Finatext 高橋充  
E-mail: info@finatext.com